

信政会 NEWS



鈴木 啓太郎



谷 新一



近藤 善則

長谷工15階建て高層マンション建設 住民説明会抜きの着工はあり得ない

施工主である長谷工は、コロナ感染対策を理由に住民向けの説明会を開いていない。近所の83軒に計画書が配られただけである。開発区域には、どんなタイプの住宅が出来るのか、周辺環境に及ぼす影響など、詳細は明らかにならず、地域は不安を募らせている。

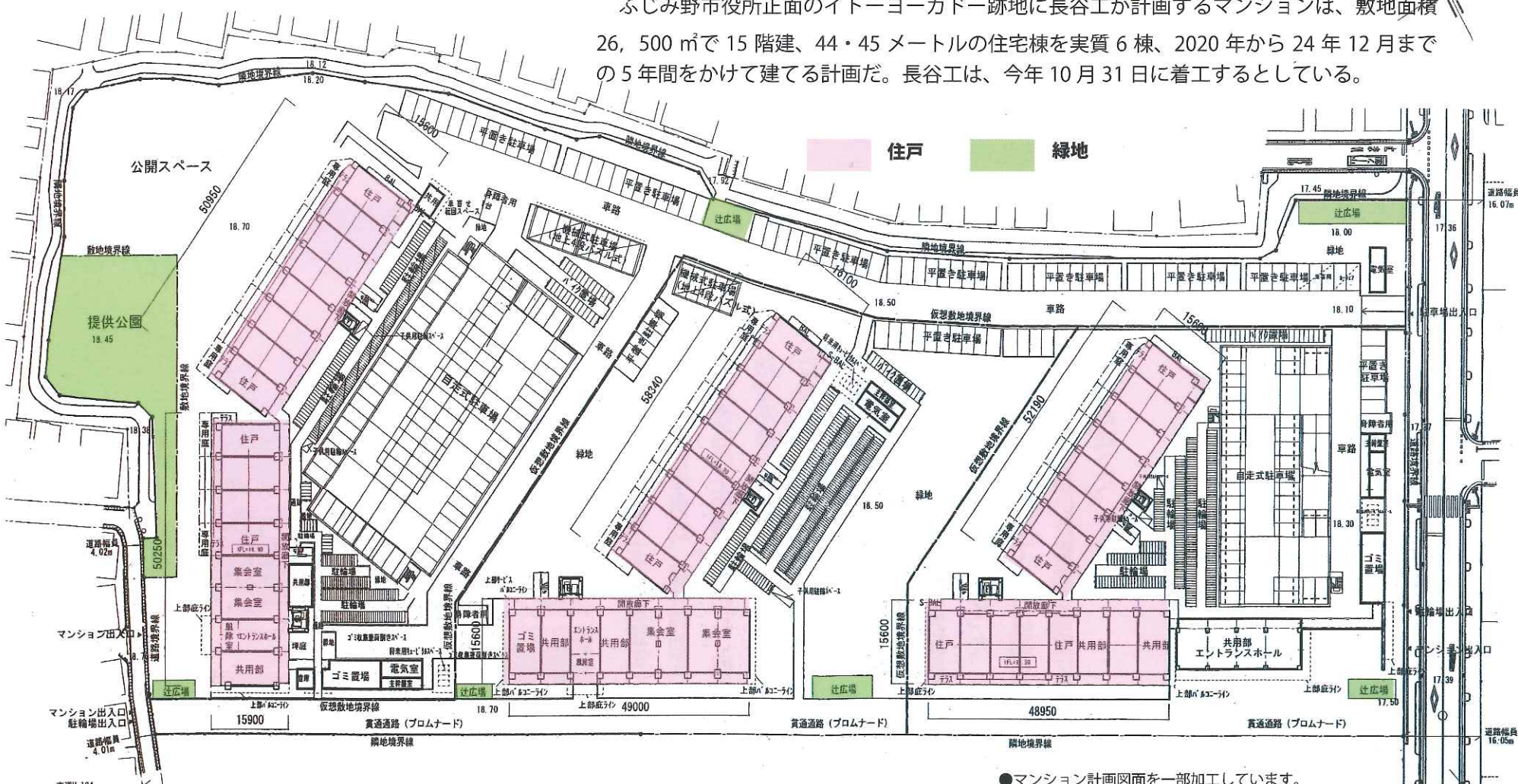
6月定例会議でも答弁にあったように、長谷工は住民に説明を尽くすべきだ。説明会は住民が納得するまで、何度開いてもいいものである。

事業者と工事業者を含めた 工事協定書の締結を！

工事協定書には、工期や作業時間のほか、人身に係わる事故補償、建物等の損害の修復地盤沈下、電波障害、風害対策、現場の管理方法や騒音振動の管理などを盛り込むのが一般的である。事業者や工事業者には、近隣住民から安全で快適な生活環境に配慮した協定書の締結を望む声が上がっている。

長谷工高層マンション計画 15階建3棟 総戸数708戸 工期は5年間

ふじみ野市役所正面のイトーヨーカドー跡地に長谷工が計画するマンションは、敷地面積26,500㎡で15階建、44・45メートルの住宅棟を実質6棟、2020年から24年12月までの5年間をかけて建てる計画だ。長谷工は、今年10月31日に着工するとしている。



●マンション計画図面を一部加工しています。

周辺地域への影響は？

- 日照被害 太陽の光を奪われてしまう。
- 風害 特定の地域に吹子のように風が舞う。
- 生活道路 狭あいな道路に人・自転車の流入増大。
- 電波障害 テレビ等の電波障害。
- 工事騒音 5年間も続く騒音地獄。
- 補償問題 事故や工事の影響で家が壊れたら？



6月27日住民勉強会に50人

6月27日 長谷工高層マンション建設計画住民勉強会が、駒林区画整理記念館に50人余が参加して行われた。最初に経過報告を岸江孝男（大原1丁目）さんが行い、質疑応答でたくさんの方の発言があった。大原自治会岸川会長も、5回にわたって長谷工と会談があった旨の発言をされた。

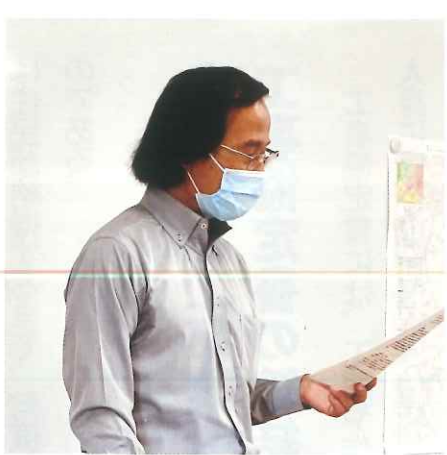
なお、この勉強会にふじみ野市議会信政会・鈴木啓太郎、谷新一、近藤善則ほか、2名の議員が出席した。



● 開発区域の向こうに広がる低層住宅地域

勉強会での発言から

周辺住環境への配慮は！



夏井正義さん（二級建築士・西原在住）
建築基準法では一敷地一建物という原則があるが、今回の計画は3つの敷地に実質6棟の高層マンションが計画されており、さらに3つの敷地のうち2つは6メートル以上の道路に接合しておらず、建築物の高さは15メートルまでとしたふじみ野市開発指導要綱にも抵触する疑いがある。さらに一団地の総合的設計制度の趣旨にも反している

これまでの生活の安寧が心配だ！



岸江孝男さん（大原1丁目）
大原の住民は私道に敷地を供出し、市道認可を受けていくなど、財産を提供してまちづくりに参加してきました。ところが長谷工は公園を提供するだけで、一戸あたりの負担はほとんどないに等しい。それでいて道路の幅や環境整備をしようと考えない。

のぼり旗は苦渋の選択



藤井亮助さん（大原2丁目）
イトーヨーカドーの解体工事が始まって、すさまじい騒音と振動で毎日悩まされています。これがこのあと5年間も続くのは地獄に等しい。工事協定書がなかったために、解体工事で長谷工はやりたい放題です。建設工事の際に、私たちの要望を反映させるためには、のぼり旗しかないのです。苦渋の選択なのです。

埼玉県川越建築安全センター 所長に「上申書」を提出



6月30日、埼玉県川越建築安全センターに岸江孝男氏、藤井亮助氏、夏井正義氏連名の上申書を提出し、県の認可権限である一団地の総合的設計制度の適用にあたって、長谷工に対して適格な指導を行うよう申し入れを行った。

応接した埼玉県川越建築安全センターの松井所長は「皆さんが大変お困りであるということはよくわかった。行政としては、要件が揃っていれば認可せざるを得ないが、頂いた書面を慎重に検討したい」と述べた。

